



第662回抄録委員会（4月17日）

はじめに、正副委員長の互選を行い、委員長には片山東京大学大学院工学系研究科准教授、副委員長には鎌田関東学院大学工学部准教授を選出した。

次に、本誌7月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。



第66回水道 GLP 認定委員会（4月23日）

水道 GLP 認定について、一般財団法人上越環境科学センター（申請番号：JWWA-GLP 083）、一般財団法人沖縄県環境科学センター（申請番号：JWWA-GLP 084）が新規に認定された。また、更新後の認定維持検査機関として新潟市水道局（認定番号：JWWA-GLP 007）、(社)青森県薬剤師会（認定番号：JWWA-GLP 008）が、それぞれ審議され決定された。

第906回会誌編集委員会（4月25日）

本誌5月号、6月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。



水道 GLP 認定証授与式（5月14日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した一般財団法人上越環境科学センター（認定番号：JWWA-GLP 083）の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



第663回抄録委員会（5月9日）

本誌8月号に掲載する外国文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

第63回全国水道研究発表会（5月16日～18日）

松江市のくにびきメッセにおいて全国から約1,700名の参加を得て盛大に開催された。開会式では開催地を代表して、松浦松江市長、日本水道協会を代表して尾崎専務理事、来賓として石飛厚生労働省健康局水道課長、坂本日本水道工業団体連合会専務理事より挨拶があった。



松浦松江市長



尾崎日本水道協会専務理事



石飛厚生労働省健康局水道課長



坂本日本水道工業団体連合会専務理事

続いて、「水道施設の耐震化・更新のための広報を考えよう」をテーマとして、伊藤国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官の座長のもと、石飛厚生労働省健康局水道課長、矢田松江市水道局工務課長・水道技術管理者、吉岡岩手県矢巾町上下水道課主査、岡部日本水道工業団体連合会技術情報委員会委員長（㈱クボタパイプシステム営業ユニット理事）を講師に、水道フォーラムが開催された（速記録は本誌8月号に掲載予定）。

また、会期中本協会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開催され、多数の見学者で賑わった。

研究発表は10部門に分かれて行われ、発表数は事務29、計画28、水源・取水12、上水69、

導・送・配水74、給水装置11、機械・電気・計装21、水質54、リスク管理・災害対策32、英語9、計339編の発表が行われた。



開会式



水道フォーラム



研究発表の様子



くにびきメッセ

なお、平成25年度より全国水道研究発表会は、秋季（10月または11月）に開催される「全国水道会議」において実施します。